

Spiber(タイ)、WHA工業団地に最新技術の生産拠点を開所

日本を代表するバイオベンチャー企業、Spiber株式会社の子会社、Spiber(タイ)はラヨン県イースタン・シーボード工業団地内の新施設の開所式を執り行いました。最先端技術を用いた当施設は繊維の原料となる構造タンパク質(Brewed Protein)の原末を生産する世界で最大級の拠点となります。Spiberの持続可能な社会を築くためのミッションを実現するため、新施設は研究開発(R&D)、トレーニングセンターとしても機能し、生産効率を上げ、環境負荷を削減することを目指します。



開所式にてWHAインダストリアル・デベロップメント社産業・国際部門取締役デビッド・ナードン氏(左から3人目)と同最高執行責任者ヴィワット・ジラティカルサクン氏(左から2人目)の立ち会いのもと、WHAコーポレーション社会長兼グループCEO ジャリーボーン・ジャルコーンサクン氏(写真中央)より祝福を受けるSpiber(タイ)社社長の森田啓介氏(右から3人目)。

東亜合成、WHA社と土地購入契約を締結 EECでの事業拡大に向けて



WHAコーポレーション社会長兼グループCEO ジャリーボーン・ジャルコーンサクン氏(中央)と東亜合成(タイランド)社社長の竹井利明氏(右から3人目)はこのほど東部経済回廊(EEC)での事業拡大のため土地購入契約を交わしました。式典には東亜合成(タイランド)社取締役役員工場長の出口浩司氏(右から2人目)、WHAインダストリアル・デベロップメント社社長のラッター氏(左から3人目)らが出席しました。

高品質なアクリル製品や化学品の製造を手掛ける東亜合成(タイランド)社は、チョンブリー県のWHAイースタン・シーボード工業団地2(WHAESI2)で、既存の事業を拡張するため土地購入契約を締結しました。高度な技術と最先端のイノベーションを備えた新施設では生産能力を高め、国内外のさまざまな業界からの高まる需要に対応していきます。

WHAユーティリティ&パワー社(WHAP)は太陽光発電事業投資計画に向けて万全の体制を整えています。同社はこのほど、バンポンタピオカ(BTF)社の敷地面積20ライに発電容量2.32MWの太陽光発電設備を設置する契約を結びました。ラチャブリ県に所在するBTFはこのプロジェクトにより25年間でおよそ2億600万バットの電力コストを節約できる見込みです。操業開始は2022年2月です。

WHAP社は目標としている持ち株に基づく発電容量を昨年度の590MWから670MWへと拡大するとしています。2021

WHAUP、太陽光発電事業を拡大 2021年内に総発電容量670MW達成を目指す

WHAP社は主要な顧客に太陽光発電の拡大設置を行っていく予定です。この計画にはWisewood社の発電容量4.99MWのソーラーファームや水上太陽光発電システムや、オートアラミアンス(タイ)の屋上太陽光発電(GMW)Asno Horie(Thailand)の屋上太陽光発電、SAICモーター社のタイ国内最大のソーラーパーク(4.88MW)なども含まれています。

WHAP社は目標としている持ち株に基づく発電容量を昨年度の590MWから670MWへと拡大するとしています。2021

WHAP社は主要な顧客に太陽光発電の拡大設置を行っていく予定です。この計画にはWisewood社の発電容量4.99MWのソーラーファームや水上太陽光発電システムや、オートアラミアンス(タイ)の屋上太陽光発電(GMW)Asno Horie(Thailand)の屋上太陽光発電、SAICモーター社のタイ国内最大のソーラーパーク(4.88MW)なども含まれています。

デジタル技術の活用を通してWHA、デジタル展開で新境地 タイの産業界に新風を吹き込む



タイ工業団地運営大手のWHAコーポレーション社はデジタル医療技術を用いた健康管理支援を拡大展開しています。

世界各国が新型コロナウイルス感染拡大を阻止するためにロックダウンを行うなど、日常生活は大きく変わりました。そのため科学技術を駆使し、リモートで仕事や勉強を継続し、他者とのビジネスとコミュニケーションを維持することが必要となりました。医療産業も影響を受けています。多くの患者が在宅医療を求め、手薄な医療従事者、医療備品の供給不足、

データ共有の難しさなどの多くの問題を抱えていました。デジタル技術の進歩により、人口知能(AI)を搭載したデバイス、ブロックチェーン技術によるデータ共有などが可能となり、より迅速にかつ効率的にサービスが提供され、人的ミスとコストを削減することもできるようになりました。



WHAグループではタイの産業分野を向上させるスマートテクノロジーを支持するためスタートアップ企業への支援も積極的に行っています。今年初めには、タイで初めてのイノベーション開発及びイノベーションセンターとなるTusParkWHAが設立され、さまざまな業界のスタートアップ企業がビジネス拡大のための支援を受けました。WHAコーポレーション社会長兼グループCEO ジャリーボーン・ジャル

WHAグループではタイの産業分野を向上させるスマートテクノロジーを支持するためスタートアップ企業への支援も積極的に行っています。今年初めには、タイで初めてのイノベーション開発及びイノベーションセンターとなるTusParkWHAが設立され、さまざまな業界のスタートアップ企業がビジネス拡大のための支援を受けました。WHAコーポレーション社会長兼グループCEO ジャリーボーン・ジャル

WHAは保健省とも協力してコロナワクチンの安全かつ円滑な配送も行っています。さらには従業員、団地入居企業、近隣住民のため8カ所の工業団地にワクチン接種会場を設けました。「我々は地域の保健センターと協力して集団免疫獲得のため日夜奮闘しています。接種会場ではあらゆる年齢層の人々に対応しています。我々の目的は、コンピューターを利用しない人、交通手段がない人を含め、全ての人々にワクチンが行き渡るようにすることです」とWHAインダストリアル・デベロップメント社産業・国際部門取締役デビッド・ナードン氏は述べています。

WHAは保健省とも協力してコロナワクチンの安全かつ円滑な配送も行っています。さらには従業員、団地入居企業、近隣住民のため8カ所の工業団地にワクチン接種会場を設けました。「我々は地域の保健センターと協力して集団免疫獲得のため日夜奮闘しています。接種会場ではあらゆる年齢層の人々に対応しています。我々の目的は、コンピューターを利用しない人、交通手段がない人を含め、全ての人々にワクチンが行き渡るようにすることです」とWHAインダストリアル・デベロップメント社産業・国際部門取締役デビッド・ナードン氏は述べています。

WHAグループとMG、WHA工業団地内にEV充電ステーションを共同開発



WHAコーポレーション社会長兼グループCEOのジャリーボーン・ジャルコーンサクン氏(左から2人目)と上海汽車集団(SAICモーター社)およびMGセルルス(タイ)社長のZhang Haido氏(右から2人目)は、東部経済回廊(EEC)域内の電気自動車(EV)MGスーパー充電ステーション設置の最終合意案を締結しました。SAICモーター社副社長 Suroj Sangsri氏(右端)、WHAインダストリアル・デベロップメント社産業&国際部門最高執行責任者ヴィワット・ジラティカルサクン氏(左端)も式典に立ち会いました。

WHAP社は主要な顧客に太陽光発電の拡大設置を行っていく予定です。この計画にはWisewood社の発電容量4.99MWのソーラーファームや水上太陽光発電システムや、オートアラミアンス(タイ)の屋上太陽光発電(GMW)Asno Horie(Thailand)の屋上太陽光発電、SAICモーター社のタイ国内最大のソーラーパーク(4.88MW)なども含まれています。

WHAP社は主要な顧客に太陽光発電の拡大設置を行っていく予定です。この計画にはWisewood社の発電容量4.99MWのソーラーファームや水上太陽光発電システムや、オートアラミアンス(タイ)の屋上太陽光発電(GMW)Asno Horie(Thailand)の屋上太陽光発電、SAICモーター社のタイ国内最大のソーラーパーク(4.88MW)なども含まれています。

WHAP社は主要な顧客に太陽光発電の拡大設置を行っていく予定です。この計画にはWisewood社の発電容量4.99MWのソーラーファームや水上太陽光発電システムや、オートアラミアンス(タイ)の屋上太陽光発電(GMW)Asno Horie(Thailand)の屋上太陽光発電、SAICモーター社のタイ国内最大のソーラーパーク(4.88MW)なども含まれています。

# 希望に満ちた2021年

WHAコーポレーション株式会社  
会長兼グループCEO  
ジャリールポーン・ジャルコーンサクン



2020年は世界にとって挑戦の一年でした。新型コロナウイルスが猛威をふるい、人々を混乱に陥れ、世界経済は急速に失速し、1929年の世界恐慌以来の深刻なダメージを与えました。しかしそれでも我々は希望を持って、しっかりと前を見据えて進んでいくしかないのです。ポストコロナの新しい時代を迎えるにあたり、私は世界の状況が改善し、希望に満ちた2021年となるいくつかのポジティブな要因を予見します。

## 1. ワクチン開発と配給

2021年の世界経済の信頼回復と再生に、ワクチンがなくてはならないのです。主要メーカー3社が開発したワクチンは、臨床試験の結果、有効かつ安全であることが実証され、世界の多くの国々でワクチン接種が展開されています。2021年上半期には先進国、発展途上国ともに多くの人々がワクチン接種を済ませ、今後さらに多くの人々がワクチン接種の機会を得ることでしょう。ワクチン接種が広まれば、経済は再開し、人々の生活も元通り、通常に戻る事が可能となるでしょう。

## 2. 世界経済の起爆剤

世界各国の中央銀行は金利を低く抑えるため金融緩和策を実施しています。欧州と日本は政府施策を支持し、景気刺激策を導入しています。これらは商業活動に有

益で、世界の経済を刺激し、過去1年半の間に変化した環境に適応するものとする。

## 3. 米国の新しい関係の行方

2021年初めの米国大統領ジョー・バイデン氏の就任は、新たな米中関係の始まりでした。米中貿易摩擦とテック摩擦の緊張緩和は世界経済、金融市場、産業分野にとって有益であり、かつ2つの超大国間の対立を減らしました。両国はビジネス、自由貿易における選択肢について協議しており、多国間協定や国際協力が再び生まれることに期待が寄せられます。

## 4. デジタル技術利用の加速

新型コロナウイルスパンデミックの中、テクノロジーは国や組織、個人を守るため重要な役割を果たしました。我々はニューノーマルに対処するため、効率的かつ生産的に生活と仕事を向上させる方法を見出しました。例えばオンライン会議の実施は、通勤時間を減らし、自動化されたテクノロジーにより生産性が上がり、サービスも向上しました。Eコマースと遠隔医療ビジネスの成長などもあります。

多くの人を失った悲しみから立ち直るまで、まだしばらくの間はかかるでしょう。2021年下半期は希望と多くのチャンスに恵まれた年になると固く信じています。最後に、皆が前向きに、心身ともに健康に、どんな障害にもめげずに、挑戦し続け、目標達成にまい進していくことを望みます。

成長する産業分野を支える  
WHAUPの  
太陽光発電サービス



### 環境問題を考慮したグリーン投資家をひきつける屋上設置型太陽光発電設備のタイ国内最大手事業者

今日、特に東部経済回廊（EEC）域内のタイ企業が多く、環境問題に関心を寄せており、再生可能エネルギーに注目が集まっていますが、そのうちの1つが太陽光エネルギーです。常夏の、太陽の光に恵まれたタイにおいて太陽光エネルギーの活用は論理的で実現可能な選択肢として、ここ数年大変注目されています。

### タイ産業界の太陽光発電をけん引するWHAグループ

WHAグループでは自社の工場と倉庫の屋上に太陽光発電設備を設置し、稼働しています。SET上場の子会社WHAユーティリティ&パワー社（WHAUP）は工業団地に入居する顧客企業に、工場の屋上や駐車場の屋根、水上太陽光発電の導入を始めています。今日まで、50社以上の工場と、総発電容量65MWの契約を結んでいます。これによりWHAUPは一躍、産業界における太陽光発電事業の第一人者となりました。

WHAUP最高経営責任者である二ホン博士によると「今では多くの企業がクリーンなエネルギーに関心を寄せています。太陽光発電は100%クリーンであり、地球温暖化をもたらす石油、石炭、天然ガスへの依存を軽減します。産業界は、大気汚染、土壌の質に影響を与える二酸化炭素の排出を削減する努力を担い、その責任を果たしています。当社には顧客の要望に十分な理解を示し、その要望に即したテラーメイドなソリューションを提供するための高い技術と安全基準があります。さら

に、認可取得にも精通しているため、わが社は長期的にサービスを提供することが可能な企業として信頼と評価を得ることができました。」  
2020年10月、WHAUPはSAICモーターCPC社MG生産工場にタイ国内最大となる電力容量4.8MW、敷地面積31,000平方メートルのソーラーパークを納入しました。また水上太陽光発電を工場貯水池に、屋上太陽光発電設備を工場とソーラーパークの二カ所に設置し、総発電容量4.2MWの3in1太陽光発電システムを稼働した企業もあります。

### 簡易な設置と低価格なメンテナンス

ソーラーパネルの設置は簡易で時間もかかりません。通常6から8週間で完了します（試運転期間は除く）。既存の電気系統を変更する必要もありません。太陽光による発電は従来の電力と混和し、安定供給ができ、蓄電の必要もありません。  
太陽光発電は発電過程において燃焼や可動もないため安全で、メンテナンス費用も低く、耐久性に優れています。多くの太陽光発電メーカー（PV）は25年〜30年の保証期間を設けています。定期的なパネルのク

問題の改善だけでなく、作業コストを抑えるメリットもあります。通常、工場などは日中に膨大な電力を消費します。日中の設定価格が高いグリッドの電力の50%、もしくはそれ以上を安価な太陽光発電で代替することが可能です。さらにソーラーパネルが屋根からの熱伝導を削減し、その結果、空調の費用の節約にもなります。

リーニングとシステム点検で最適なパフォーマンスと耐久性が保証されます。  
WHAUPはより安価な電力を投資費用やメンテナンス費用をかけることなく得られる仕組みであるエンドツーエンドサービスパッケージを顧客に提供しています。太陽光パネルを工場や商業施設の屋上に設置することで、企業は広範囲な屋上スペースを利用して太陽光発電の利点が得られるのです。  
WHAUPの屋上太陽光発電パッケージには、設計、許可証、設置、運用、メンテナンスの費用が含まれ、これは電力購入契約（PPA）スキームに基づいて

**WHAUP SOLAR ROOFTOP**  
No.1 in solar power for industrial users  
with experience providing high quality solar systems for over 50 factories across Thailand

- Saving with zero investment
- Up to 50% carbon emission reduction
- Free All-inclusive Long-term Service
- High Safety and Engineering Standard
- Tier-1 Quality Product

Contact  
WHA Utilities and Power Public Company Limited  
www.wha-up.com  
E-mail: solarroof@wha-up.com  
(+66) 61 394 2111, (+66) 2 719 9559



## WHA、ギロック地区の殉教者遺族に 住居建設を支援



WHA インダストリアルゾーン ゲアン社コミュニティ・リレーション部シニアマネジャー Pratuang Glaijangdon 氏は殉教者ファミリー支援協会の代表団、ゲアン省ギロック地区代表、Nghi Hung 自治体会長らとともに、Nguyen Thi Tinh さんに家の建築費用として 5,000 万ドンを寄付しました。

飲水思源（物事の基本を忘れない、他人からの受けた恩を忘れない）という諺に着想を得て、WHA インダストリアルゾーン ゲアンはゲアン省ギロック地区の Nghi Long と Nghi Hung 自治体の殉教者遺族に、殉教者ファミリー支援協会の協力を得て、総額 1 億ドンを住居建築費として寄付しました。

人々への敬意と感謝の気持ちを表しています。遺族らは、地区や自治体の代表者、ゲアン殉教者ファミリー支援協会、そして特に WHA インダストリアルゾーン ゲアン社が物資や心身の両面で支援を提供し、コミュニティのメンバの福利厚生や生活環境を向上させてくれたことに感謝しました。



この日、ギロック地区 Nghi Long 自治体 Kim Dien 村に住む殉教者ホアン・ヴァン・タイ氏の未亡人 Dinh Thi Hoa さんも 5,000 万ドンを新築費用のため受け取りました。



写真は殉教者ホアン・ヴァン・タイ氏の新築起工式に参加する代表者らと、立ち合いの Dinh Thi Hoa 未亡人



WHA インダストリアルゾーン 1 ゲアン (ベトナム) の第 1 フェーズ (498 ヘクタール) は、ゲアン省関係者立ち合いのもと行われた公式式典にてゲアン省人民委員会より改正投資法登録証が授与されました。証書はゲアン PPP 会長 Nguyen Duc Trung 氏 (写真左から 10 人目) と同社副会長 Le Ngoc Hoa 氏 (左から 8 人目) より授与され、WHA グループからは WHA インダストリアルゾーン ゲアン社代表 Nguyen Thi Bich Lien 氏 (同中央) が出席しました。WHA インダストリアルゾーン 1 ゲアンはゲアン省の重要プロジェクトの一つで投資総額は約 1 億米ドルに上ります。

## WHA インダストリアルゾーン 1 ゲアン 改正投資法登録証を授与



WHA ベトナム カスタマーリレーション部マネジャー Nguyen Thi Thu Hang 氏は WHA インダストリアルゾーン 1 ゲアンの世界水準のユーティリティとインフ



ラを備えた工業団地設備の説明と、クリーンなエネルギーと環境保護についての当社の取り組みについて発表しました。会議の中では、投資家らが運営を円滑に行い、ベトナムにおける戦略的パートナーとして WHA とともに持続可能な成長を遂げられるよう、最善の開発、運営、メンテナンスが実施できることが強調されました。

## WHA ベトナム、台湾企業とともに オンライン投資プロモーション会議に参加

WHA インダストリアル・デベロップメント社国際部部長アンチャリー氏 (スクリーン下段左端) は「Investment Promotion into Nghe An province-Taiwanese Market」への参加者を歓迎しました。このオンライン会議では、ベトナム、特にゲアン省への投資の機会をうかがう台湾企業のために企画されました。まずは WHA の 35 年にわたる実績と工業団地開発における専門性について概要を説明し、台

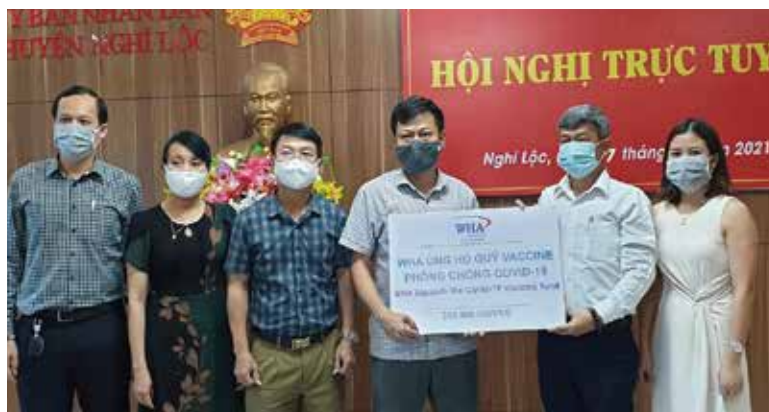


## Your Manufacturing and Export Base to the Global Market

- Smart Eco Industrial Zone in Nghe An
- Preferred Location with High Investment Incentives
- High Quality Standard Infrastructure and World Class Facilities



## WHA、新型コロナワクチン基金を支援



WHA インダストリアルゾーン ゲアン社より寄付を受けとるギロック地区祖國戦線委員会の代表者ら

ゲアン省人民委員会、ドンナム経済区管理委員会、およびゲアン省ギロック地区人民委員会からの呼びかけに応じて、WHA インダストリアルゾーン ゲアン社は、ギロック地区の祖國戦線委員会を通じて、新型コロナワクチン基金の 2 億ドンを寄付しました。



WHA インダストリアルゾーン ゲアン社ゼネラルダイレクター Nguyen Thi Bich Lien 氏は、「新型コロナワクチン基金のパンデミックは多くの人の生活を破壊しました。この困難な時期に、ワクチン基金に寄付することは、長期的に国民を守るための良い戦略であると考えています。WHA グループでは、今回の寄付が直接的な支援となり、ギロック地区の住民が新型コロナワクチンの接種を受けられるようになることを願っています」と述べています。同社では、地域社会の人々を支える慈善活動を支援していきます。

# WHA GROUP ニュースダイジェスト

## WHA Group

### WHAバンナーの新社屋完成 パートナー企業各社から多くの祝福の言葉が寄せられる

WHA コーポレーション社長兼グループ CEO ジャーリーボーン・ジャルコンサクン氏はバンナーのランドマークとなる WHA の新社屋、WHA タワーを訪れた、日立アジア (タイ)、セントラル・リテール (CRC) Thai Watsadu、タイ鹿島建設など、トップ企業の代表を暖かく迎えました。タワーは 25 階建て、総面積 52,000 平方メートルのオフィススペースと共有のオープンスペースがあり、この他に高級店舗スペースを有し、人々の仕事場と憩いの場として両立しています。東部経済回廊 (EEC) への便利なアクセス、バンコクにも近く、スワンナプーム空港、メガ・バンナー、セントラルバンナー、国内の主要な港にも至近の WHA タワーでは、現在入居者を募集しています。



CRC Thai Watsadu社長のSuthisarn Chirathivat氏よりお祝いの花束を受けとるジャーリーボーン氏



日立セールス (タイ) 若永 正徳氏はWHAタワーを訪問し、WHAコーポレーション会長兼グループCEOジャーリーボーン・ジャルコンサクン氏に祝福の言葉を述べました。



入居者募集中のWHAタワーを訪れたタイ鹿島建設 (株) 浜田雅則社長

## CSR

### WHAグループ、2021年のCSR活動を開始

世界保健機関 (WHO) が新型コロナウイルスのパンデミック宣言を行ってから1年。世界中の人々が、突然の日常生活の変化を受け入れ、ニューノーマルな時間を過ごすようになりました。このなかWHAグループでは家庭、学校、地域を含む支援のネットワークを強化するために若い世代と社会に向けた活動を継続してきました。3月にはWHAインダストリアル・デベロップメント社 (WHA ID) とWHAユーティリティ&パワー社 (WHAUP) が中心となり地域住民のためにいくつかの活動を実施しました。



#### 教育支援

若い世代は社会の発展にとって重要な役割を担っています。教育を通して、若い世代は家族を含め自身の生活を向上させるための武器を身に付けるのです。そして教育を受けることにより生産性のある市民となりうるので、WHA ID と WHAUP はチョンブリ県シラチャのBowinコミュニティの学校に教育支援のための寄付を行いました。



タイ工業団地公社 (IEAT) と工業団地入居企業の協力

により、WHA IDとWHAUPはチョンブリ県シラチャのBaan Khao Hin (Nikorn Rat Bamrung) 学校の創立45周年記念式典に参列しました。野外活動を推進し、勤勉な教師陣と生徒へ支援を提供するまたとない絶好の機会となりました。またスポーツマンシップ育成のため、ラヨーン県Nongbuaスタジアムにて開催されたサッカー大会「WHA Nongbuaユースリーグ 2021」を協賛しました。スポーツイベントを通して生徒たちはメンタルと身体の健康を維持しチームワークの重要性を学ぶことができます。

#### コミュニティとの強い絆を構築する

WHAグループを代表してWHA IDとWHAUPはチョンブリ県シラチャ登記所を表敬訪問し、事務所の維持と住民へのサービス向上のための資金援助を行いました。これにより、WHA代表は地元の政府関係者と会う機会を得ました。さらにBang Bueng地区管理事務所にも地域コミュニティの住民のためのサービスポイント設置や事故防止のための交通安全意識の向上に役立てる資金を提供しました。また、ラヨーン県Bang Khai警察署へは警察官らがより効率的に作業をこなせるようコンピューターの提供や施設管理のための資金援助を行いました。

WHA IDとWHAUPはラマ3世の命日に地元当局が主催した清掃キャンペーンにも参加しました。参加者全員がボランティアで地域の秩序と住民の安全を守るため、道路や歩道のゴミ拾いをおこないました。CRS活動を継続していくことで、WHAグループは持続可能な方法で地域社会の発展と福祉の向上に貢献しています。



## WHA ID

### WHAグループ、スマートファクトリーのための高度セキュリティシステムとエンジニアソリューションに関するウェビナーを開催

WHAインダストリアル・デベロップメント社はWHA工業団地に入居するさまざまな企業のマネージャーや責任者を対象に「Innovation Advanced Security System and Engineering Solutions for Smart Factory」と題したウェビナーを開催。PCS Security and Facility Services国内営業部長Nathawat Rucksawong氏が「2021年の注目すべきセキュリティトレンドについての有益な情報を提供し、同社エンジニアリングサービス・オペレーションマネージャーのSnthorn Boonto氏が「スマートファクトリーのためのエンジニアリングソリューションについて説明を行いました。参加者はそれぞれの施設のセキュリティ、効率、パフォーマンスを向上させる方法についての包括的な説明に耳を傾けていました。」



### WHAグループ、GMSロジスティクスフォーラム参加者を歓迎

WHAコーポレーション社コーポレート・マーケティング部シニア・マネージャーFasai Finch氏 (写真前列右から3人目) を代表とするWHAグループは、メコン・インスティテュート (MI) が主催し、タイ国際会議展示場機構が主催するGMSロジスティクスフォーラムの参加者を歓迎しました。今回の視察では政府関係者、開発支援団体、運輸・物流企業、サプライヤー、製造業へ、東部経済回廊 (EEC) に位置するWHA工業団地の世界基準の事業運営、施設、サービスの概要が伝えられました。



Work | Life | Solutions

Premium Office  
Gateway to the EEC  
Available for Rent



02-719-9555  
wha-group.com

Advertise with Us

**WHA Billboards & LED Display**

Billboard Locations: WHA Plaza 1, WHA ESIE 1

LED Display Locations: ESIE Office, WHA ESIE 2 Office, WHA Plaza 2, WHA Plaza 3

Call for more info  
+66 2 719 9555

www.wha-industrialestate.com

